

# JOSKAS ニュースレター

発行：一般社団法人 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS)

URL:<http://www.joskas.jp/index.html>

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル (株式会社コングレ内) TEL:03-3263-5394 FAX:03-5216-5552

## 第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (7th JOSKAS) 開催にあたって



会長 齋藤 知行 横浜市立大学 医学部整形外科 教授

この度は、第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (7th JOSKAS) を2015年6月18日 (木) から20日 (土) の3日間に亘り、札幌コンベンションセンターと札幌市産業振興センターで開催させていただくことになりました。関節鏡、膝関節さらにスポーツを専門としている会員の皆様のご尽力により、近年は出席くださる先生方も1,000名を超える学会となりました。このような歴史ある、盛大な本学会の会長にご推挙いただき、大変名誉なことと存じております。

本学術集会のテーマは、「経験と思索」とさせていただきました。ポスターの絵はご年配の先生方には懐かしいジュークボックスを選びました。若手の先生方がこれから多くの経験を重ねその中から、思索の上、一枚を取り出し診断・手術・研究に活かしていただき、また、その1つが関節鏡というアイテムであればという思いをこめ、ジュークボックスとレコードを関節鏡で取り出す図柄としました。特別講演は北海道大学の安田和則先生に、10th ISAKOSメモリアル講演 兼 Masaki Watanabe Award Lectureを神戸大学黒坂昌弘先生にお願いしております。また、パネルディスカッション11、シンポジウム7、ランチョンセミナー18を企画しました。

過去最高の1,143演題を応募いただきました。口演セッション145、ポスターセッション48を組みました。例年通りJOSKAS CUP綱引きは18日 (木) に行います。例年同時期に併催されておりますJOSKASセミナーは2015年10月24日 (土) 25日 (日) の2日間の開催となります。従来のワークショップに、札幌医科大学第2解剖学教室のご協力のもと、解剖実習室を使わせていただきcadaver trainingを中心とした膝関節のワークショップも予定しております。

革新的なアイデア、手術手技を提示していただき、活発な議論ができるのも本学会の特徴です。とくに若い先生方にとっては多くを学べる絶好の機会ですので、2015年度も是非、本学会にご参加いただき、日常診療・研究に役立てていただければ幸いです。札幌で皆様をお待ちしております。

### 第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形学会 (7th JOSKAS)

- ◎ テーマ：経験と思索
- ◎ 会長：齋藤 知行 (横浜市立大学 医学部整形外科 教授)
- ◎ 会期：2015年6月18日 (木) ~20日 (土)
- ◎ 会場：札幌コンベンションセンター (札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)  
札幌市産業振興センター (札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1)

※詳細はホームページ [[www.congre.co.jp/joskas2015/index.html](http://www.congre.co.jp/joskas2015/index.html)] にてご確認ください。

# JOSKAS関節鏡・内視鏡手術Web登録システムについて

JOSKAS将来構想委員会  
関節鏡・内視鏡手術Web登録システム開発ワーキンググループ

WG長 中田 研  
前田 朗、前 達雄、佐々木 英嗣、中前 敦雄

## 1. JOSKAS手術実態調査の開始と現状

### 1) 学会主導の手術実態調査

JOSKASでは、2011年将来構想委員会、および手術実態調査検討WGにより運動器の関節鏡・内視鏡手術治療に関して審議、準備を行い、2012年から会員の自主的な協力により手術実態調査を開始した。本調査では主に手術内容と合併症に関する調査を行い、現在までに全国約300医療機関／年間2万4,000症例が集計されている。関節別の内訳は、膝関節が69%、肩関節が23%、その他、足・足関節3%、手関節3%、脊椎2%である(図1)。

### 2) 現在の問題点と課題

整形外科領域での手術登録システムとして初めて、全国規模の集計が行われたが、課題として、各病院の集計を事務局がさらに集計する入力の手間や、集計データの会員利用が難しい点、紙による保管のため長期の運用・保管が難しく、手術や治療効果の成績評価として発展しにくい点が挙げられた。

### 3) 日本における外科系手術の臨床効果データベースの現状

現在、医療の質の向上のため、各医療機関が患者の診断・治療内容・効果等に関する臨床効果情報を全国的に収集・分析し、公表するためのデータベースを構築することが有益と考えられている。「一般社団法人National Clinical Database」(NCD)が、2011年から専門医制度と連動した手術症例の入力を開始し、2014年3月末時点で400万件を超える手術情報が4,105施設から集積・論文発表され、日本の外科技術レベルの高さが世界に示されている。上記はWeb登録システムを用いており、患者情報と術式から手術リスクが瞬時に表示されるシステム(Risk Calculator)の運用も始まり、手術リスク評価も可能になっている。

## 2. Web登録システムの開発計画

### 1) Web登録システム開発の構想と準備

手術調査入力と集計を効率化し、長期の運用により会員が術式毎や合併症などの把握を行いやすくするため、臨床効果情報と分析結果を公表可能なデータベースの構築が、2013年6月将来構想委員会にて承認された。システム開発会社を決定し、Web登録システム開発WGの立ち上げが行われた。

図1 2012年JOSKAS手術実態調査協力病院と集計症例数

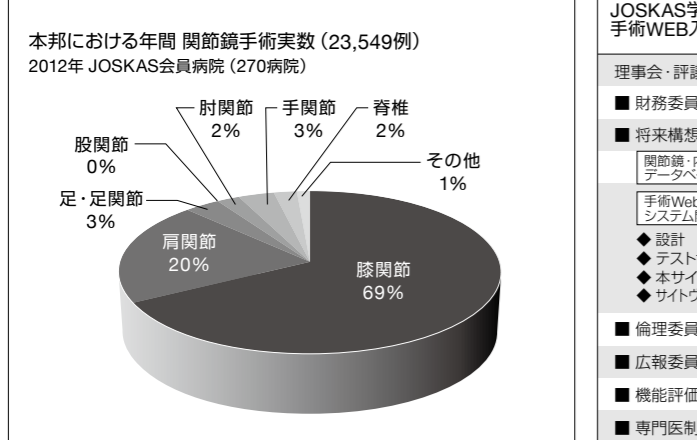
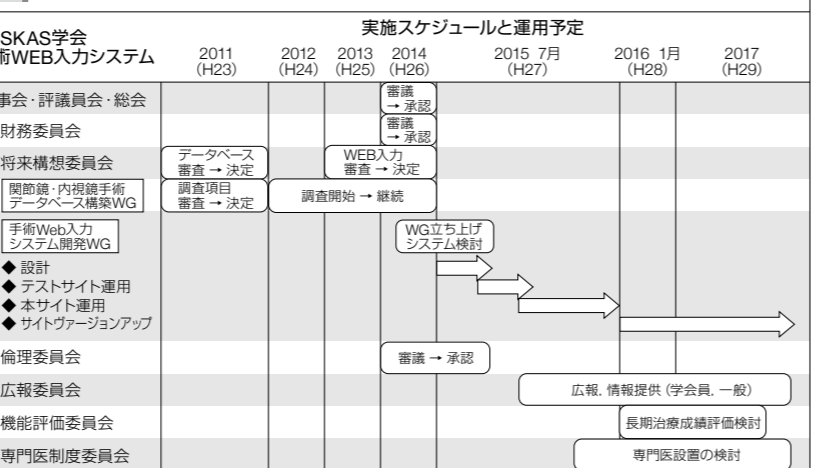


図2 JOSKAS手術Web登録システムの実施、運用計画



## ■ JOSKAS委員会 委員 (2015年4月23日現在)

	担当理事	委員長					
学会誌編集委員会	松田 秀一	堀部 秀二	宗田 大	齋藤 知行	吉矢 晋一	望月 由	岩堀 裕介
			佐野 博高	赤木 将男	出家 正隆	池内 昌彦	
社会保険委員会	柏口 新二	須田 康文	米田 稔	出沢 明	橋詰 博行	中川 照彦	
			小谷 明弘	和田 佑一	竹内 良平		
学術用語委員会	田中 康仁	高尾 昌人	酒井 宏哉	松本 秀男	望月 由		
			阿部 信寛	二木 康夫	柳下 和慶	小林 龍生	
国際委員会	黒坂 昌弘	黒田 良祐	井樋 栄二	史野 根生	松田 秀一	安田 和則	
			西良 浩一	安達 伸生			
倫理委員会	内尾 祐司	石橋 恭之	水田 博志	中田 研	黒田 良祐	上松 耕太	
			岡崎 賢	真柴 賛			
COI委員会	内尾 祐司		津田 英一	関矢 一郎	阿部 信寛	高橋 敏明	近藤 英司
将来構想委員会	越智 光夫	中田 研	黒坂 昌弘	史野 根生	安田 和則	井樋 栄二	
			田中 康仁	遠山 晴一	安達 伸生	井手 淳二	石橋 恭之
教育研修委員会	井樋 栄二	井手 淳二	黒田 良祐				
			出沢 明	石橋 恭之	堀部 秀二	金森 章浩	
機能評価委員会	齋藤 知行	出家 正隆	中村 英一	中川 匠	上村 民子		
			佐靴 孝久	池田 浩	福井 尚志	大森 豪	
広報委員会	米田 稔	熊井 司	中村 憲正	遠山 晴一	高橋 敏明		
			大森 豪	荻内 隆司	菅谷 啓之	前 達雄	
ガイドライン策定委員会	宗田 大	遠山 晴一	落合 聡司	黒河内 和俊			
			津田 英一	中川 晃一	高尾 昌人	望月 由	
専門医制度検討委員会	水田 博志	三浦 裕正	中村 俊康	内田 宗志	前 達雄	岩堀 裕介	中前 敦雄
			土屋 明弘	丸毛 啓史	高橋 成夫	堀部 秀二	
定款等検討委員会	吉矢 晋一		高井 信朗	古賀 英之			
			出沢 明 *アドバイザー	柏口 新二	井原 秀俊	眞島 任史	北村 信人
財務委員会	出沢 明	安達 伸生	越智 光夫	齋藤 知行	内尾 祐司	井樋 栄二	近藤 英司
			津田 英一				
ニュースレター委員会	越智 光夫	高橋 成夫	園田 昌毅	井上 雅之	佐藤 卓	熊橋 伸之	杉本 和也
			松下 雄彦	橋本 祐介			
学会賞選考委員会	理事長および前、現、次、次々会長、編集委員会担当理事						
トラベリングフェロー選考委員会	必要に応じて開催						
役員選考委員会	必要に応じて開催						
プログラム委員会	必要に応じて開催						

## 「JOSKAS - SFA Traveling Fellowship」フェロー募集のお知らせ

このたび、国際親善と相互の技術向上を目的として、フランスのFrench Arthroscopic Societyとの間でTraveling Fellowshipを開始することとなりました。フェローには、受け入れ施設の訪問・見学のほか、グルノーブル市にて2015年12月9-12日に開催される SFA 2015 にて発表いただきます。学会からは海外渡航経費を支給し、フランスでの旅費・宿泊費はSFAにより提供されます。

つきましては、右記の要領で2015年度フェローを募集致しますので、奮ってご応募のほどよろしくお願致します。

**JOSKAS理事長 越智 光夫**

- 募集人員: 2名
- 応募資格: JOSKAS正会員、申込時点で45歳未満、英会話が堪能であること
- 渡航援助: 1人あたり30万円
- 訪問期間: 2015年11月28日(現地時間)より、12月12日頃まで(約15日間)
- 提出書類: ① 英文略歴(業績を含む)  
② 推薦状  
③ 誓約書 (HPにて告知)  
④ SFA 2015 abstract (5月末日まで)

● 提出/問合せ先

一般社団法人日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 事務局  
〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル 株式会社コングレ内  
TEL: 03-3263-5394 FAX: 03-5216-5552 E-mail: info@joskas.jp

## 2015年度JOSKASフェローシップ

2015年度フェローは以下の3名に決定致しました。

<b>武長 徹也</b>	名古屋市立大学 整形外科
<b>岡 真也</b>	六甲アイランド病院 整形外科
<b>菅原 敦</b>	岩手医科大学 整形外科

### 編集後記

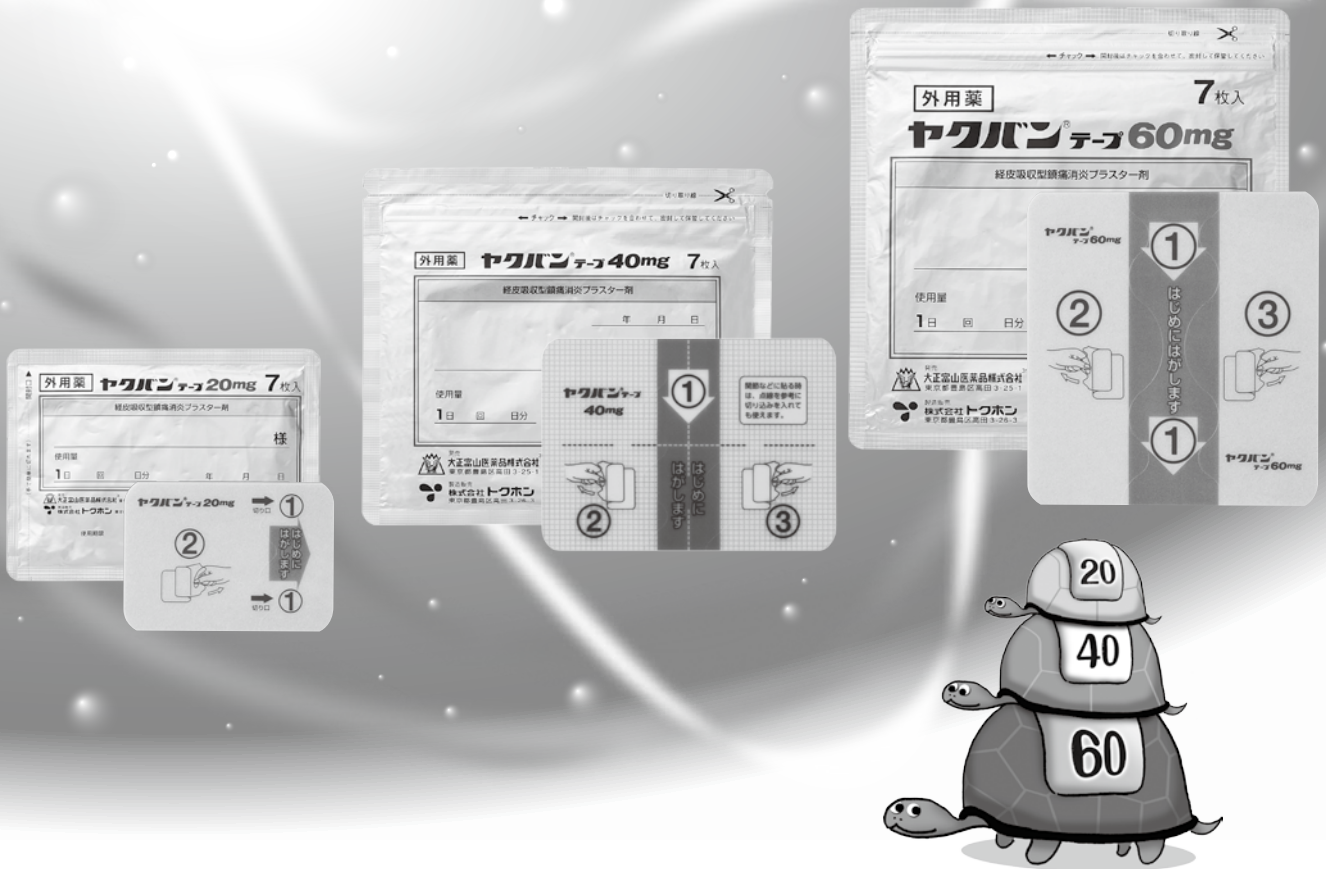
ACL再建術を施行した私の患者は、ニューヨークで装具をしていたこともあり、「Hi, friends.」と声をかけられたそうです。日本でもACL装具をした人をよく見かけます。ところでACLは、日本でどれだけ認知されているのでしょうか。検索をかけると、上位はサッカー競技大会でした。ニュースレターではJOSKASに関する、多岐に渡る内容を網羅していきます。掲載してほしい内容があれば、ぜひとも御一報下さい。委員会ではJOSKASの見える化を踏まえた発刊を目指します。

ニュースレター委員会 委員長 高橋 成夫 (三菱名古屋病院)

## 2013年・2014年度 JOSKASフェローシップ報告会のお知らせ

第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会において、2013年度・2014年度のJOSKASフェローシップ報告会を開催いたします。訪問施設でのご経験を6名のフェローに報告いただきますので、奮ってご参加ください。

日時: 2015年6月18日 10:15 - 11:15  
会場: 第7回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 第2会場 (札幌コンベンションセンター)



経皮吸収型鎮痛消炎プラスター剤

薬価基準収載

**ヤクバン® テープ 20mg**

**ヤクバン® テープ 40mg**

**ヤクバン® テープ 60mg**

*Yakuban tape 20mg / 40mg / 60mg*

フルルビプロフェン製剤

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については製品添付文書をご参照ください。



発売  
大正富山医薬品株式会社  
東京都豊島区高田 3-25-1



製造販売  
株式会社トクホン  
東京都豊島区高田 3-26-3